

# テレビ番組表に関するマーケティングデータ 第1弾

朝日大学マーケティング研究所

# 調査概要

---

調査方法 WEBアンケート

調査期間 2003年10月23日(木)～2003年10月30日(木)

調査対象 首都圏在住者  
12歳～49歳の男女

有効回答 926名

12～19歳男性(T男)	150名
12～19歳女性(T女)	158名
20～34歳男性(M1)	150名
20～34歳女性(F1)	157名
35～49歳男性(M2)	161名
35～49歳女性(F2)	150名
計	926名

( テレビを見ていない人は除く )

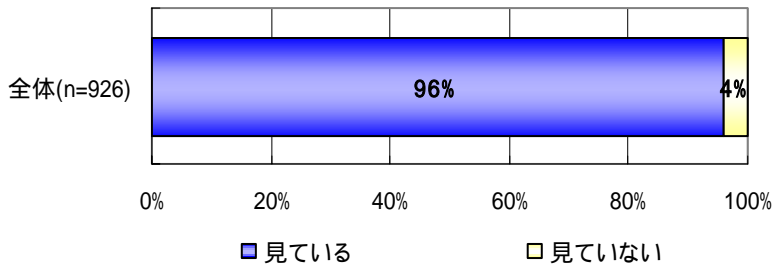
# 1. テレビ番組表を見ること

普段、テレビ番組表を見ている人は全体の96%。以前と比べて見る頻度が変わらないと回答した人が7割以上を占めるが、減ったと回答した人も16%に達し、増えたと回答した人を上回っている。

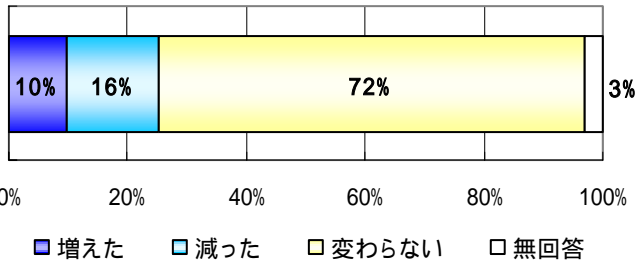
以前に比べて見る頻度が減ったという人は、その理由に「テレビを見る時間の減少」、「見たい・面白い番組の減少」などを挙げている。

テレビ番組表を見ることは習慣化しているものの、見たい番組がある時には予定を入れないようにするという人は2割にとどまる。また、テレビ番組を見るためにわざわざ帰ってこようという人も少数派である。

Q 普段、テレビ番組表を見ていますか？



Q 以前と比べて、テレビ番組表を見る頻度は？

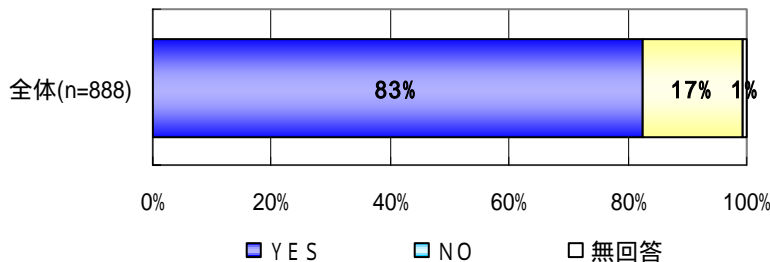


減った理由(n=138)

1	テレビを見る時間が減ったから	26%
2	見たい・面白い番組がないから	24%
3	他にすることが増えたから(家事・勉強など)	22%
4	自分が見る番組が決まっている	9%
5	チャンネルを回した方が早いから	4%

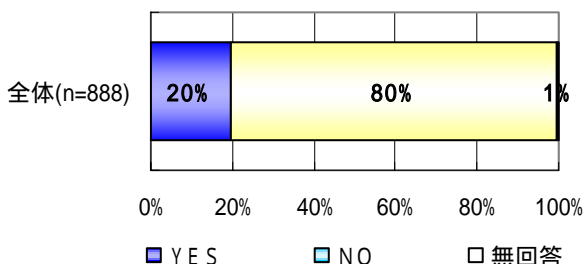
母数は現在テレビ番組表を見ている人

Q テレビ番組表を見るのは習慣になっている

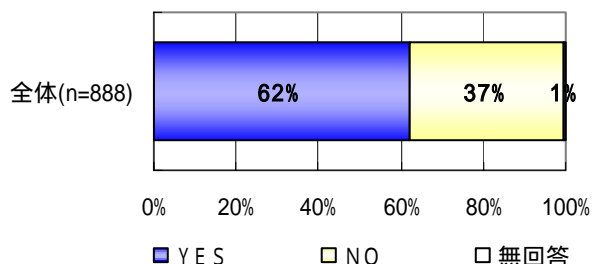


母数は現在テレビ番組表を見ている人

Q 予定を入れる時は、見たいテレビ番組がない時間(曜日)にしている



Q テレビ番組のためにわざわざ帰ってこようという事はあまりない

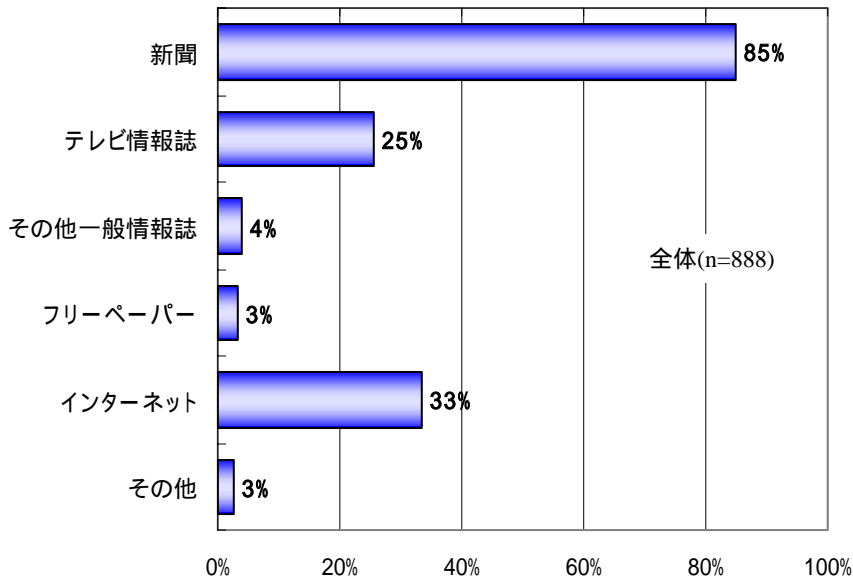


## 2. 見ているテレビ番組表

視聴者が見ているテレビ番組表は、新聞が最も多い（85%）。次いで、インターネット（33%）、テレビ情報誌（25%）。

M1、F1層は、他層に比べて新聞で番組表を見ている人は少ない。M1はインターネットで見ている人が半数を越え、F1はテレビ情報誌で見ている人が他層より上回っている。

Q 現在見ているテレビ番組表は？



年代別

	新聞	テレビ情報誌	その他一般情報誌	フリーペーパー	インターネット	その他
全体(n=888)	85%	25%	4%	3%	33%	3%
T男(n=147)	94%	18%	3%	1%	28%	3%
T女(n=154)	95%	27%	2%	5%	22%	4%
M1(n=141)	72%	28%	7%	4%	53%	3%
F1(n=144)	76%	31%	4%	6%	35%	2%
M2(n=155)	81%	27%	4%	2%	39%	3%
F2(n=147)	90%	22%	4%	3%	24%	1%

### 3. テレビ番組表の見方(新聞、雑誌、インターネット)

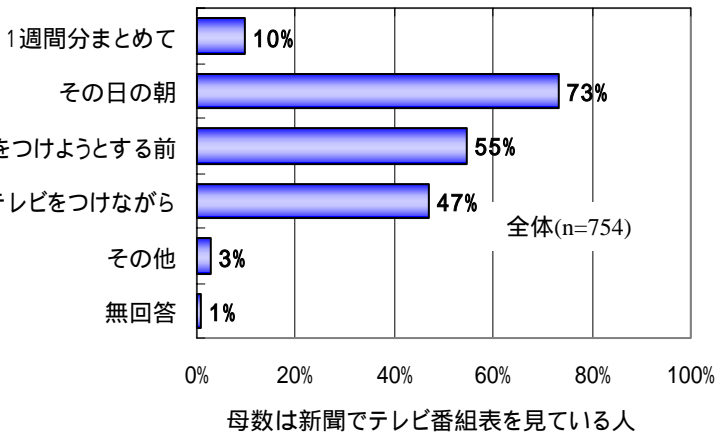
新聞では、毎朝、その日の在宅時間帯を中心に面白そうな番組を探しながら見ている。  
雑誌では、1週間分まとめて目を通し、見たいと思う番組に印をつけて、放送当日再度確認する。また、番組表以外の特集ページを見て、見ようと思う番組を決めている様子も  
うかがえる。

インターネットでは、テレビを見たいと思った時、放送されている番組や詳しい放送内容を調べる。また、放送時間や番組の変更を調べる時にも利用している。

Q テレビ番組表はいつ見ていますか？また、その具体的な見方を教えてください。

#### 新聞

#### 新聞のテレビ番組表の見方(n=754)

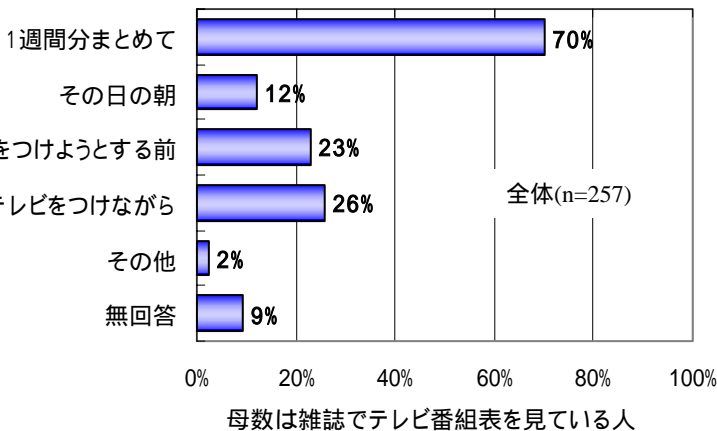


1	自分が在宅している時間帯のところを中心にしている	26%
2	朝、その日どんな番組が放送されるかチェックしている	18%
2	面白そうな番組がないか探す	18%
4	テレビ番組表に一通り目を通す	15%
5	いつも見ている番組をチェックする	10%
6	その日の放送内容、出演者を確認	9%
7	今現在どんな番組がやっているかを見る	9%
8	外出前に録画する番組を決める	7%
9	野球などで時間変更がないかを確認する	5%
10	帰宅後にこれからどんな番組が放送されるかチェックする	3%

上位のみ掲載

#### 雑誌(テレビ情報誌+その他一般情報誌+フリーペーパー)

#### 雑誌のテレビ番組表の見方(n=257)

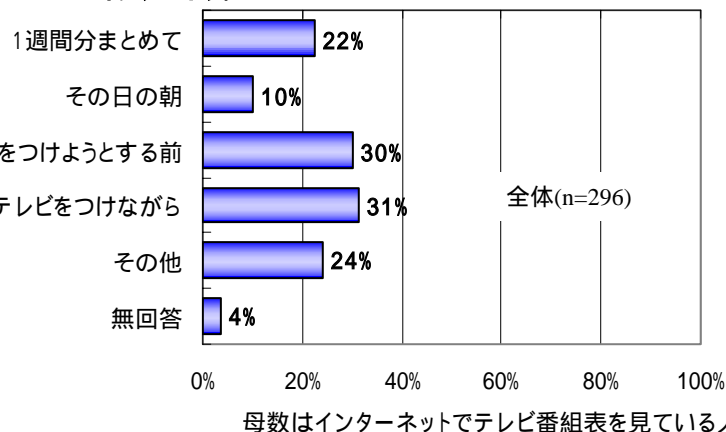


1	購入後、1週間分などまとめてどんな番組が放送されるかを見る	22%
2	見たい番組に印をつける	18%
3	あらかじめ見たいと思っていた番組を当日確認する	16%
4	テレビ番組表以外のページで、ドラマのあらすじや予告を見る	7%
5	テレビをつけながら、現在どんな番組が放送されているかを見る	7%

上位のみ掲載

#### インターネット

#### インターネットのテレビ番組表の見方(n=296)



1	見たい番組の内容を調べる	17%
2	面白い番組を探す	14%
3	テレビを見たい時、見ている時どんな番組が放送されているかを調	14%
3	見たいと思っている番組の放送時間を確認する(野球延長などの時)	12%
5	当日以外の番組を調べる時	12%

上位のみ掲載

普段、テレビ番組表を見ることは習慣化しているが、以前に比べて見る頻度が減ったという人が増えたという人を上回っている。減った理由としては、「テレビを見る時間の減少」、「面白い番組の減少」が挙げられる。これは、日常行動の中で、他の行動に比べてテレビ視聴の優先順位が低下しているという側面の表れともいえる。

視聴者が見ているテレビ番組表は、新聞が一番多いが、テレビ情報誌、インターネットで見ている人も多く、番組宣伝媒体としてその位置付けは高まってきている。

新聞では、習慣的に、その日の番組の中で面白い番組はないか確認するという見方が多い。雑誌では、当日以外にも興味がありそうな番組を探し、さらに、番組表以外のページでもおすすめ番組などの情報を得ている。インターネットでは、テレビを見ようと思ってから、新聞や雑誌より詳しい内容を見ている。また、最新の情報が掲載されているというイメージが強く、放送時間や番組の変更を調べるのに活用している。

視聴者は、それぞれの媒体の特徴とシチュエーションによって、番組表を見る媒体を使い分けている。

今後、テレビ局側としては、そうした見方、あるいは、媒体のターゲットに合わせた番組宣伝内容、アピールポイントを考えていく必要がある。

## マンスリーリサーチ

### テレビ番組表に関するマーケティングデータ 第1弾

---

発行日 2003年10月31日

---

発行・調査分析 朝日大学 マーケティング研究所  
〒460-0002  
愛知県名古屋市中区丸の内3-21-20  
朝日丸の内ビル2F  
TEL : 052-961-4576

---

お問い合わせ [enquete@titan.ocn.ne.jp](mailto:enquete@titan.ocn.ne.jp)